



# アクチュアリーが 本を出版することについて

---

モデレーター

アクチュアリー会論文委員長  
田中周二(日本大学文理学部)



# アクチュアリー関係の出版

---

- 私が関わったアクチュアリー関連書籍
  - 「リスク管理とアクチュアリー」(1990) 浅谷輝雄監修
    - 小川悟, 鎌野創一郎, 久保知行, 杉田健
    - 田中周二, 野上憲一, 山内恒人, 吉田英幸
  - 「生保の株式会社化」(2002) 田中周二編
    - 田中周二, 松岡博司, 村田富雄, 吉岡裕晃
    - 吉村雅明, 重原正明, 松村隆巳
- その他の著書
  - 年金関係では年金アクチュアリーが退職給付会計関連書を数多く出版している
  - 実は違う分野でも本を書いている人もいる？



# 質問に当たっての前置き

---

- 現在は本の売れない時代です.特に理工学書は冬の時代を乗り越えて氷河期のようです.このような時代にあって出版するということには人知れぬ苦労があると思います.そこで質問します.



## 質問事項(全員対象)

---

- あなたの本のセールスポイントを1つ挙げてください
- 本を書くに至った動機は何ですか？
- 執筆時間をどのように確保したのでしょうか？(たまたま暇だった？)
- 出版にあたって苦労した点は？
- 本を出版してよかったと思う点は？



# 個別質問

---

- 山内さんと岩沢さん
  - 教科書があるのに「生保数理」「損保数理」を改めて書きたかった理由は何でしょうか？
- 福田さん
  - 3名共同執筆で本格的な研究書(岩波書店)ということですが,どのように分担されましたか?場所も離れていたのですがコミュニケーションはどうされましたか？
- 海老崎さん
  - 数式を使わない数学書.どのような読者層を想定しておられましたか？



## 最後に

---

- これから本でも出してやろうと考えている若手のアクチュアリーに対して激励をこめたアドバイスをお願いします
- 論文委員会(長)としては、本の出版の前にまずよい論文を書いて人前で発表する習慣をつけること⇒このような会合を出来るだけ頻繁に開催したいと思います！